

令和3年度事業計画

1 基本方針

我が国において、少子高齢化が進展するとともに労働力が減少している中、成長力を維持するためには高齢者を地域社会の一員として生かすことが重要となっています。

こうした中、国においては、働く意欲がある誰もが年齢にかかわらずその能力を十分に発揮できるよう、高年齢者が活躍できる環境整備を図るために、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」を改正し、65歳までの雇用確保措置、70歳までの就業機会の確保（努力義務）を講じることを推し進めています。

また、政府がまとめた「経済政策の方向性に関する中間整理」の全世代型社会保障の改革においても、「生涯現役世代の実現に向けて、意欲ある高齢者に働く場を準備するため、（中略）地方自治体を中心とした就労促進の取組みやシルバー人材センター（以下、「センター」という。）の機能強化、求人先とのマッチング機能の強化、キャリア形成支援など、働きやすい環境を整備する」とされています。

このような、施策の実現や地域社会の期待に応えるためにも、センター事業の発展と拡充は喫緊の課題となっています。

このような高齢者を取り巻く社会情勢の中、当センターの基盤となる会員数は、令和3年2月末で303人となり、第2次中期計画令和2年度目標の291人を12人上回っています。数値的な達成は図られましたが、町の人口減少に比例した60歳以上人口（祖入会率対象人口）の減少という実態があり、祖入会率が自然増になっています。このようなことから、現在の祖入会率目標数値3%の上方修正3.2%による一層の会員拡大に取組みます。

受託事業については、過去10年間の契約額がすべての年度において、1億2千万円前後を推移している中、地域社会の労働力不足の進展に伴い、本年度も相当量の事業量が見込まれます。このため、会員拡大と合わせた職群班やグループ就業など機動力と効率性の高い就業体制の確立を進めます。なお、2年度に増大した就業中の事故（賠償事故）対策として、適正就業を重視した安全就業の確保を図ります。

新しい取組みとして、町地域福祉計画及び町地域福祉活動計画推進のための資源として、地域を支えるセンターとなるため、町と町社会福祉協議会との共働による「高齢者等生活サポート事業（ワンコインサポート事業）」の具現化を強力に進めます。

派遣事業については、新型コロナウイルス感染症の影響による事業量の減少傾向がしばらくは続くと思われることから、既存事業の拡大及びコロナ下ゆえの就業機会の開拓を進めるとともに、農業部門の受託事業に見受けられる指揮命令系統就業の派遣事業への切替えを行い、適正化を図ります。

なお、2年度はコロナ感染症拡大防止対策上、事業の中止、縮小、自粛を余儀なくされ閉塞感に包まれた1年でした。本年度は関係者が一体感を持った対策を講じながら、前年度を取戻す気概を持ってセンターの発展を目指します。

以上のことから、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」（以下、「高齢法」という。）に基づくセンターとして、高度の公共性・公益性のある団体としての機能と性格を最大限に発揮し、本事業計画の達成に努めます。

2 事業実施計画

(1) 会員及び就業拡大の推進

ア 会員拡大の推進

- (ア) 第2次中期計画に定めた、3年度会員目標数値295人を確実に達成するとともに、60歳以上人口に占める会員祖入会率3.2%超えを目指します。
- (イ) 会員会費規程の入会時期による会費の減額及び免除、夫婦会員の免除及び減額並びに運用による就業実績後の会費納入、準会員登録システムを最大限に活用し、選択肢の広い気軽な入会環境の提供により会員拡大を図ります。
- (ウ) 鶴田・薩摩地区において出前入会説明会を開催し、積極的な会員拡大を図ります。
- (エ) 新規事業「高齢者等生活サポート事業（ワンコインサポート事業）」の推進策の一つとして、地域福祉推進に特化した会員体制の検討と具現化を図り、会員拡大につなげます。

イ 就業拡大の推進

- (ア) 新規事業「高齢者等生活サポート事業（ワンコインサポート事業）」を具現化を進め、地域福祉活動という新しい分野の就業開拓と拡大を図ります。
- (イ) 新たな独自事業の開拓による就業拡大
コロナ下で取組めなかった、他センターが実施しているアンテナショップ、会員や町民のサロンの抛り所の実施についての研究検討を進め、魅力あるセンター事業の拡大と就業拡大を図ります。
- (ウ) 公共事業（公共施設管理及び清掃）が増加するため、センター事業の基本であるローテーション就業を進め就業提供及び拡大を図ります。

ウ 普及啓発事業拡充による会員及び就業拡大

センター事業における普及啓発事業は必要不可欠であるため、女子会活動など会員互助会活動を前面に押し出したイメージ戦略や、魅力的で特色ある広報紙などの情報発信により会員及び就業拡大を図ります。

(2) 安全就業の徹底

- ア 増加傾向にある就業中の事故防止対策として、就業前安全確認をはじめ基本に忠実な作業手順の遵守と行動を励行し、安全就業の徹底に努めます。特に、センターの信用信頼の失墜につながる賠償事故の防止については、細心の注意と良識ある判断及び行動の下に作業を実施します。また、この実行に当たっては、必要不可欠である会員一体となった安全就業に対する意識の醸成を図りながら進めます。
- イ 令和3年度安全適正就業推進計画に基づいた、実効性の高い安全適正かつ確実な就業に努め安全就業を確保します。特に、事故事例に応じた関係者による事故分析や検証、事故事例・防止策の周知、効果を引き出すための安全パトロールの実施や危機管理意識の普及啓発など、取組みを強化します。
- ウ 会員の健康あつての安全就業とするため、町の特定健診及び長寿健診の受診勧奨を進めます。

(3) 適正就業の推進

ア 発注者や就業会員に対して適正就業ガイドラインをはじめとする適正就業に関する普及啓発を推進し、法令遵守による地域社会での信用維持や、会員が安心して就業できる環境確保に努めます。

イ 適正就業はセンターの信用信頼に関わる重要な事項なので、就業内容の見極めを的確に行うとともに、公共的・公益的性格を裏付ける普遍性、中立性を堅持し、地域住民に広く公開することで適正就業の確保を図ります。

(4) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業（補助事業）による事業の推進

ア 事業導入により、引き続き人手不足分野や現役世代を支える分野での高年齢者の就業機会を確保します。

イ 派遣事業等を通じたホワイトカラー層向けの就業開拓、マッチング支援の強化を図り、高年齢者の活躍の場を確保します。

(5) 町及び関係機関団体との連携・共働による事業の推進

ア 町のふるさと応援寄付金謝礼品タイアップ事業の「ふるさと安心見守りサポート」については町の空き家対策に貢献できるため、引き続き特長を活かした利便性の高い作業メニュー化を進め、真のふるさと納税返礼品としての継続と充実を図ります。

イ 会員拡大及び就業拡大で述べた「高齢者等生活サポート事業（ワンコインサポート事業）」については、地域コミュニティ再生の大事業であり、センター単独では成し得ない事業であるので、町をはじめ関係機関団体との連携及び共働による研究・検討を進めます。

(6) 労働者派遣事業の推進

ア 高齢法の特例措置による、高年齢者の多様な就業形態に対応するための就業時間の拡大にも取り組み、就業機会の拡大を図ります。

イ 派遣先との連携の下、キャリア形成支援制度（教育訓練等）に基づく段階的かつ体系的な教育訓練を実施し、派遣事業登録会員のキャリアアップを図ります。

(7) 組織体制の整備と拡充

ア 「高齢者等生活サポート事業（ワンコインサポート事業）」の推進のためには、地域班の機動力と地域における会員活動が必要不可欠であることから、地域班体制の見直しと拡充を図ります。

イ 職人的会員、特に、剪定、大工、左官のできる会員の確保を積極的に進めます。また、既会員及び新規会員に対する育成事業を実施し、職群班の体制整備を図ります。

(8) その他

ア 全シ協、九シ協及び県シ連事業等について、役職員及び各種委員会委員が積極的に参加し、情報収集と研鑽に努め、センターの管理運営、事業運営に活かします。

イ 会員互助会との連携を図り、会員の親睦と交流による連帯感と絆をセンター事業に活かします。

3 法人管理運営

(1) 適正な法人運営と健全財政の確保

ア 公益法人は、運営、事業面すべてにおいて厳格な適正化が要求されており、これが信用と信頼につながります。

よって、関係法令遵守とシルバー事業の基本理念の下、法人としての自己規律と高度の公共性・公益性の確保を図るとともに、普遍性、中立性を堅持し、これを地域住民に広く公開しながら、社会的使命と役割を果たせるよう努めます。

イ センターの財源は、会員会費、事務費及び公的補助金に限られています。したがって、第2次中期計画に基づいた、年次的、段階的かつ計画的な事業運営と予算執行による健全財政の確保に努めます。

ウ 令和6年度が設立（統合合併）20周年となるため、記念事業等の経費に充てるため、20周年記念事業積立資産として積立を開始します。

(2) 定款及び規程に基づいた管理運営

当センターの管理運営及び事業執行に関して重要な案件等を審議・決定するため、下記のとおり会議を開催します。

会議名	開催回数
定時総会	年1回
理事会	年5回

会議名	開催回数
懲戒審査委員会	随意
理事及び監事候補者選考委員会	
安全適正就業推進委員会	
広報委員会	
独自業推進委員会	
地域班会	